

令和三年度

「成家」二次試験（毛筆実技）問題

*唐「欧陽詢・九成宮醴泉銘」（同封コピーの指定四枚）を全て、臨書しなさい。

▽参考資料：二玄社「日本名筆選」三一

※揮毫注意

- ・半紙（縦書）一枚に四〜六文字ずつ揮毫のこと
- ・一枚ごとに名前（印）は不要
- ・不明な文字は字典を引くこと

（釈文《原文》どおりに揮毫のこと）

- ・表紙（半紙可）を付けること

〈表紙筆書〉：臨九成宮醴泉銘・姓号を体裁よく

揮毫のこと

- ・裏紙（半紙可）も付けること

〈裏紙筆書〉：揮毫日（令和四年二月〇日）

揮毫者サイン

（〇〇臨＋雅印を押印のこと）

- ・作品は法帖どおりの順に重ね、上部（中央部）を黒紐で綴じること

※作品は、返却いたしません

*「成家」理論試験はコロナ禍のため、古典解説文形式の試験とさせて頂きます。

※古典解説文課題…太宗「温泉銘」についての解説

（古典教室を参照し、臨書にあたって記載のこと）

■原稿用紙（四〇〇字）三枚〜五枚程度にまとめ、肉筆での提出とします。

（原稿用紙は、各自用意のこと。参考資料についても、書店、図書館等で調べてよい。）